

Narashino International Association



NIA SQUARE ナショナルスクエア

第49号

2000年3月1日

（編集）

習志野市国際交流協会

Special
Community
Report
Report

アジアの国々・中国
アフリカ音楽で心の交流を
N.I.A.活動報告
あすなろ会だよりetc.

N.I.A. Youth
Who's Who
Information
Challenge

クリスマス・パーティー
こんにちは・コ・ン・ニ・チ・ハ
姉妹都市派遣生募集ほか
ザ・英文クロスワード

＜特集＞白鳥の首飾りの上の真珠—ハルビン

文：干 平
(N.I.A.会員)

ハルビンから日本に来てもうすぐ7年になります。今回は私の故郷、ハルビンへ3回目の帰省です。

飛行機から降りて、目の前に聳え立つハルビン空港は、昔の面影はありませんでした。立派な空港ターミナルは北京空港の第一ビルディングのように明るく大きいので、「間違えたかな?」と思いながら尋ねてみると、竣工したばかりの「ハルビン大平空港」とのことでした。

市内を遊覧してみて、ハルビンの変わりようには本当に驚かされました。高速道路や立体橋や



ニュータウンの中の小公園



新宅小区 2年前から建築になったニュータウン

高層ビルがどんどん増えてて、更に蜘蛛の網のような地下商店街は活気のある買い物の場所になっていて、有名な観光地の一つにもなっているそうです。こんな大きな変化に感動させられて、もっと故郷のハルビンの事を色々と調べて日本の友達に伝えたくなりました。

●ハルビンの街並み

まず何はともあれ、中央大街を松花江まで歩いてみました。レンガ畳の道の両側には、ロシア風の建物と街路樹が



ニュータウンの街並

並び街並がとても美しい。「ここは本当に中国なの？」と思ってしまうほど、他の都市とは通りの造りが異なっている。

天気のよい日曜日には、カメラマンを先頭に腕を組んだ新郎新婦が何組も歩いていく。

よく見ると中央大街には、写真スタジオが異常に多いことに気づく。聞くところによると、記念写真を撮る商売が大流行しているとのこと。

松花江に到着すると、川沿いに「スター・リンク公園」が延びている。そこでは、ハルビン市民が、のんびりとくつろいでいる。松花江の辺りは散策に最高の場所だ。

奮闘街は中央大街とも並びショッピング街だ。日本人の購買欲を唆るものは少ないが、時間があればプラプラするのもおもしろいところだと思った。

●水灯遊園会

ハルビン市は、黒龍江省の都市であり、中国の十大都市の一つで、中国東北地区の経済、文化の中心である。ハルビン市の面積は、約1,637平方kmで、人口は約330万人が住む。内陸寒冷帯気候なので、夏は涼しく、冬はとても寒い。(年平均気温は、2.4℃で、年日照日数は2,452時間である。)

中国全体の地形が白鳥に似ている。この白鳥の首の下にある綺麗な大都市なので、「白鳥の首飾りの上の真珠」といわれている。

ハルビンの冬は、いくら紹介してもしきれない

ほど、話題に溢れている。大雪が降った後、鮮やかな青空、すがすがしい空気、植物や建物は雪で化粧されて真っ白な大地と一体になる。

1月から2月のハルビンは零下20℃を超える。松花江は厚い氷に覆われてしまう。毎年この頃に中央大街にはほど近い兆麟公園で「冰雪祭」が開催される。(具体的な開催期日は年によって異なるので事前に旅行会社などに問い合わせることを忘れないようにして下さい。)

今年は、史上最大規模の冰雪祭となり、松花江を中心とし、20万平方メートルの「冰雪の世界」がつくられました。冰雪彫の数は1万個ぐらいに達しました。史上一番高い氷の建築物は、高さ33メートルの「世紀鐘楼」でした。又、史上一番長い氷灯は、368メートルの滑り台でした。

氷彫や雪彫などは変化に富んでいて種類も多彩です。これらの作品は松花江から運ばれた氷を利用して製作された。特に氷彫には5色の電灯が入れてあるので、昼に見ると水晶のように、夜に見ると花火のようにとても美しい。

この会場となる兆麟公園は、1946年にここで暗殺された李兆麟將軍を記念して造られた公園です。

冬季が長くて寒いハルビンは、別名「氷の城」とも言われている。気温は寒冷で、食物は冷凍ものばかりです。例えば冷凍の梨、冷凍の柿、アイスクリーム、冷凍の水餃子、冷凍豆腐、冷凍豚肉



八童 児童公園 冬



索菲亞教堂 キリスト教堂

など凍った食べ物が多い。人々は「越冷越吃冰」即ち「寒くても、氷を食べる」と言います。

●ハルビンのパンとソーセージ

ハルビンは、ロシア統治時代に発展を遂げた都市で、現在でもロシア風の建築物が多数残っている。たとえば、奮闘街にある「秋林公司」(ハルビンの他に満州里、瀋陽、大連にも支店を構えている)は、1900年にロシアの豪商が創業した服飾店だ。中央大街ではロシアの雰囲気を意識して整備されている。又、外観ばかりでなく、ロシア式のパンが街中で売られていたり、「華梅西餐厅」の西洋料理がポピュラーだったりと、いろいろな面でロシア情緒たっぷりの街であると言えます。

ハルビンの大型パンは、鍋蓋みたいで、とても有名です。このパンの大きさは、だいたい直径30センチで重さは、2キロもあります。100年前、ロシアから伝わったもので毎日数万個作ります。

ハルビンのソーセージも大型パンと同じく有名です。ヨーロッパからハルビンに伝わってから数百年の歴史があります。このソーセージは、色、味、香りとも、ハルビン市民の欠かせない美味しい食材です。

ハルビンは、中国のビールの発祥地でもあります。同じくヨーロッパから伝わり、このハルビン

を経由して中国全土に広がりました。ハルビン市民はビールが大好きで、飲む人が多い。そこで「ハルビンの人は、ビールを注ぐように飲む」と言われています。ハルビンの人々の飲酒方式と酒量から、北国ハルビンの人達の豪放な性格を現しています。

●太陽島と東北虎公園

ハルビンの太陽島は松花江の北岸にあります。面積は400万平方メートルあります。20世紀の20年代に建立されました。40年代に入り別荘と公園になりました。そして50年代以降は修復して、今は食べたり歌ったり、踊ったりと自由に遊べる場所になりました。夏には、人々は松花江で船をこいだり、泳いだりできる美しい風景が見られます。

また、ハルビンの東北虎公園は1990年に建立されました。面積は125万平方メートルあり、世界最大の公園です。この東北虎公園には34匹の虎が自由に徘徊しています。人々は車に乗り虎をそばでみることができます。

「白鳥の首飾りの上の真珠」と謂われているハルビンは、より明るく平和な都市になるように期待されています。

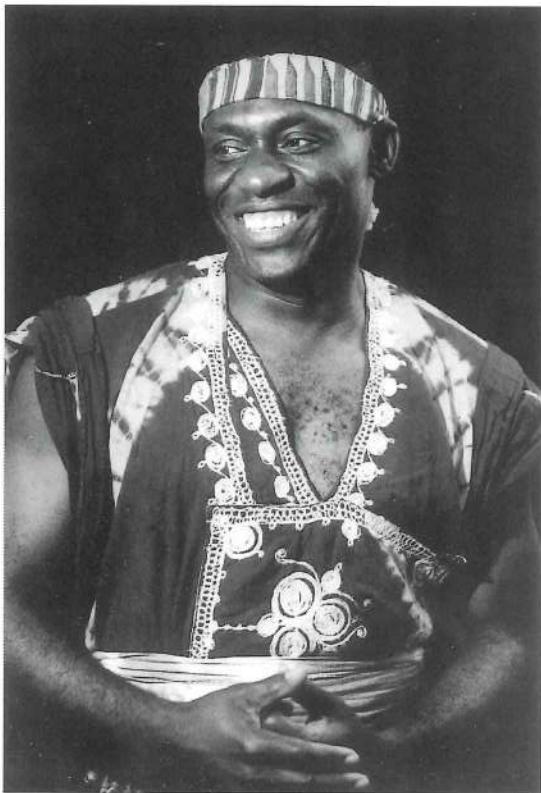
日本のみなさんも是非、訪ねてみて下さい。
では、再見！

文責 館川 裕（編集長）



干 平さんとお嬢さん

「子供たちは純粋無垢で、喜怒哀樂の感情を素直に表現します。エネルギーなパーカッションの響きに、子供たちは感応して大喜びします。私の日本語も、子供たちとのふれあいの中で学んだものです。」 B.B.モフラン



聴衆を惹きつけるモフラン氏の演奏

流暢な日本語を話すB.B.MO-FRANCK(以下モフラン氏)は、コンゴ共和国(旧ザイール)出身のアフリカン・パーカッション、キーボード奏者である。大久保にある自宅兼スタジオでパーカッション講座を開催し、「ビタシカ」・「ジャンボ」のリーダーとして小中学校の国際交流事業やNGOイベントなどでコンサートを行ない、日本とアフリカの文化の架け橋として活躍。1998年12月より劇団四季『ライオンキング』にも出演している。

モフラン氏が生まれ育ったのは、コンゴの首都キンシャサ。高校時代ベーシストとして音楽活動を開始。その後、7年間にわたりザイールやヨーロッパのミュージシャン、研究者とともにアフリカ各地の様々な民族に伝わるリズムを研究した。

「初来日したのは1983年、広島・長崎の平和祈念コンサートに出演するためでした。渡辺貞夫氏と共に演じ、絶大なる歓迎を受けました。ところが、足を悪くして入院し、再びアフリカで演奏活動することにしました。」

その後、ケニアにもどって「ヴァンドゥムーナ」というバンドを結成。アフリカの伝統音楽に独自の視点からジ

ヤズやファンクの要素を取り入れたサウンドで東アフリカでNo.1のバンドとなり、ケニアでは未だ伝説のバンドとして語り継がれている。

◆来日当初は日本人の偏見に閉口

1986年ヴァンドゥムーナを率いて再来日。恵比寿のアフリカンレストラン「PIGAPIGA」で日本初の外国人契約バンドとなる。それ以降、日本を拠点に演奏活動を開始し、7年前に習志野市に移り住んだ。陽気で賢明なモフラン氏だが、来日当初は苦い経験をした。「カラオケの仕事をしていた時、日本の奥さん方からたびたび『ブッシュマン』とからかわれました。また、日本人はアフリカ人と言うとすぐに『ライオン』や『ピグミー』を連想しますが、それはアフリカの生活実態とはかけ離れたものです。」

都会育ちのモフラン氏にとって、日本人のアフリカ人に対する偏見には閉口したようだ。コンゴには動物が棲息するナショナルパークがあるが、首都キンシャサからは約2,500km離れている。このパークは九州と同じ規模の面積で、園外から自動車で3時間以上走らないとライオンに遭遇することができないそうだ。つまり、アフリカ人がライオンなどの猛獣と共生しているという一部の日本人の定説は、全くの偏見であると言える。

廃刊された朝日ジャーナルの編集長を務めた伊藤正孝氏が、アフリカ特派員時代の経験を執筆した「南アフリカ共和国の内幕」という著作がある。その文中に「黒人問題は人種問題であって人種問題ではない。黒人とは生まれるものではなく、人工的に創出されるものである。差別とは感情ではなく構造である。そして私たちの下部構造が競争の原理に立つかぎり、同じ人種の中にたえず"黒人"を作り出す」という鋭い指摘がある。これは白人だけではなく、現代の日本人に向けられた警鐘の言葉だ。

◆原爆と戦争は悪、音楽で心の交流

モフラン氏は、アメリカのプロパガンダに洗脳されている現代文明の有り方について、冷静な見方をしている。「私は当初、日本はアメリカの植民地だと誤解していました

した。日本人のアフリカに対する偏見は、アメリカ映画
にあるのではないですか。確かに、白人の支配者層
は知性の面では優れていますが、その反面で原爆をつく
ったり、戦争を起こしたりします。それは最大の悪です。
しかし、プリミティブな人々は素朴な感情を持ってい
て、そう悪いことはしません。私たちの演奏活動は、
個人が持つ様々な個性、才能を音楽を通じて開花させ、
人間同志の交流を図ることを目的にしています。」

とはいってもモフラン氏が日本人に愛着を感じているこ
とは事実である。日本人女性と結婚して2児をもうけて
いるし、日本の柔道、空手などの武道に対しては「深い
精神がある」と評価。伝統芸能である太鼓や津軽
三味線と共に演じるなど、民族を超えた共通の精神的な
領域を探っている。

ただ、モフラン氏が白人の支配者層を糾弾するのは、
祖国が絶えず欧米列強の覇権争いに巻き込まれた苦い
歴史を経験しているからであろう。東側がベルギー、西
側がフランスの植民地だった旧コンゴは、1960年の独立
達成直後から内戦に突入したが、欧米列強が国連軍とい
う形をとって武力介入した。その後、ザイール(現コン
ゴ)に国名が変わってからも、1977年隣接するアンゴラ
急進政府の武装蜂起にソ連、キューバの脅威を感じ、ベ
ルギー、フランス、アメリカの軍事援助を仰ぎ鎮圧に
成功した。

◆バンド演奏に加えCM作曲、講演も

こうした植民地支配の歴史が、コンゴの文化に影を落
とす。「ベルギーダイヤモンド」と言われていますが、
原産地はコンゴでベルギーは自国で加工しているだけに
過ぎません。宗教は9割以上がカトリックですが、私は



沖縄で身障者たちとのふれあい

コンゴ族のキンバーグという宗教の信者です。フランス語は共通語で、東側はスワヒリ語、西側はリンガラ語を話します。私はリンガラ語の区域ですが、日本語と音が同じ言葉が多いので驚きました。例えば、日本語の『こんばんは』はリンガラ語では『掃除してください』を意味しますし、『味噌』は『眼』という意味です。刺身とわさびは苦手だが、梅干、納豆、豆腐は大好きでコンゴ風に改良して食事をするそうだ。だが、タコは祖国で「悪魔の魚」と呼ばれているだけに口にすることはない、という。

バンド演奏のみならず、CMの作曲、出演も多く、SONYのウォークマンをはじめ、サントリー、フロム・エー、第一興商などで、明るく親しみやすい曲の数々を披露。また、1993年より始めた全国各地の学校でのスクールコンサートは大好評を得て700校以上、おやこ劇場への出演は130回を超えており、加えて、独自の指導法を確立したパーカッション講座、アフリカ文化を紹介するレクチャー、教育委員会や各地のロータリークラブでの講演活動も行なっており、そのユーモア溢れ、人間味豊かな人柄は誰からも愛されている。

黒人音楽と呼ばれているジャズ、ブルース、スティングなどのジャンルの根底には、アフリカン・ミュージックの精神が流れている。欧米人の偏見で「暗黒の大陸」という汚名を着せられたアフリカ大陸であるが、モフラン氏との対話を通じて、21世紀にはアフリカ大陸が人類の希望の大陸として輝きを増してゆくように感じられた。そして、言葉を巧みに操るだけではなく、まず自らの心の中に潜んでいる障壁を取り払って純朴な心を取り戻すこと、それが真の国際交流を推進する第一歩のではないか、そんな想いが胸に去來した。



仙台・七ヶ浜でのコンサート

Report/N.I.A.活動報告Ⅰ

地域に根ざした国際交流

ぬまざわ けいこ (編集部員)

去る11月13日に香澄公園で開催されたバーベキュー・パーティーは、まさに大イベントデーといつてもおかしくない。心配していた最悪の天候は免れ小春日和とも思える最適の状態で、その日を迎えることができた。当日は、荒木市長の挨拶から始まり、林会長の藍綬褒章を授与されたことなど、喜びで会が盛り上がるには相応しいスタートでした。



会長もご機嫌です

予め、午前中に、会員の有志の方々の協力を得て、材料(肉、野菜等)、用具などの手配、搬入、下準備(野菜のカット)を整えることができたことに、心から感謝します。

次々と集まくる様々な国の会員とその家族で、色づいた公園のパーティー会場は、一層華やいだ。普段は、ウォーキング、マラソンの練習などでひっそりとしている公園であるが、人・ひと・ヒトで明るい会話に花が咲いた。

バーベキューの味がいつもと違つて、格別においしく感じられたのは、忙しい日々の生活から開放され、素敵なかまとの出会いがあるからこそでしょう。

そして、もう一つ、会を盛大にしてくれたのは、そでつ鼓連の皆さんによる、和太鼓の演奏でした。粹で、日本情緒をたっぷり満喫させてくれた。外国人は勿論のこと、私たち自国人にしても、日本文化に触れる絶好の機会であったといえる。

実際、太鼓をどうやって叩くかも体験することができ、リズムの難しさと運動神経を併せ持たなければならることの大変さが、身に沁みてわかった感じがしました。

イベントを催すには、地域の協力を得なければ成り立たないことです。それには、場所を提供してくれる行政機関や地域住民の理解が、是非とも必要です。今回のイベントが盛会となったのも、ひとえに、行政や地域の方々の理解と協力によるものと感謝いたします。



そでつ鼓連の和太鼓演奏

楽しかった房州の旅

すぎた ようこ (N.I.A.事務局)

N.I.A.比較文化部企画の『晩秋の房州1泊の旅』は、11月24日、25日のバスツアーでした。宿泊は習志野市営国民宿舎「しおさい」ということで格安の参加費でした。1泊2日で7,000円、特に60歳以上の市民は、半額の3,500円(市からの宿泊助成を利用)という参加費でした。

今回の旅は24名が参加、この内、8名が外国の方で、外国の方々との交流も大変楽しく行われました。出発時から若干天気が悪く、東京湾アクアラインから、海ほたるの見学時には視界が悪い状態でしたが、浜金谷での昼食の頃には天気も回復し、快適なバスツアーとなりました。



シェークスピア・ガーデン

目的の丸山町にも早い時間に到着し比較文化事業の目玉である、ローズマリー公園、シェークスピアガーデンの見学は、ゆっくり楽しむことが出来ました。イギリスの劇作家「シェイクスピア」が晩年を過ごしたといわれる家や町のたたずまいを再現したもので、手軽に異国情緒を楽しめる素晴らしい公園で、一度は訪れる価値があると思います。

「しおさい」での懇談会は、和気あいあいの雰囲気で海の幸を満喫いたしました。外国の方々との懇談も活発に行われ、彼等もこのような旅は経験が少なく、良い想い出になったようです。

Report／N.I.A.活動報告Ⅱ



シェークスピアの家

翌日は、勝浦の朝市に立ち寄り、海山の産物をお土産にした後、大多喜城を見学いたしました。房総の山並を望む城の中では多くの展示資料があり、日本の文化にも浸る事が出来ました。

今回の企画は、当初参加者が少なく心配しましたが、参加した方は大変楽しかったとの感想で、来年も是非房州の花の頃に訪れてみたいと云う方も居られました。



大多喜城にて

スピーチ茶話会

本美 礼子（日本語ボランティア講師）

日本語ボランティア事業は今年で5年目となり、現在約40名のボランティアが、外国の方々の日本語習得を手助けするためN.I.A.で活動しています。その中で、日頃学習している日本語でスピーチをする機会を設けたらどうかという提案により、1998年12月「スピーチ茶話会」が発足し、昨年12月に2回目を迎えるました。

「スピーチ茶話会」の主旨は、スピーチの発表に加え、多くの外国人達に気軽に参加していただき他のメンバーと一緒に交流を楽しんでもらう事にあります。そこで今回もコンテストではなく、ゲームや歌を取り入れた茶話会という形をとり、参加者も増え大変活気のある会となりました。

ここでスピーチの数々を紹介しましょう…
まずは、イギリス人の男性英会話講師の入院体験。彼は、膝の手術後、麻酔から覚めた時なぜか今まで以上に

日本語をペラペラしゃべれた事、来る日も来る日も配膳されたキャベツのおかげ（？）で3キロ痩せてしまった事など様々なエピソードをユーモアたっぷり交えてスピーチし、私達は大いに笑わせていただきました。また、タイの主婦は、何やら大きなバックを持って登場し、皆の視線が集まる中、バッグから次々とカップメンを取り出すというパフォーマンスを繰り広げながら、物価高と手軽なインスタント食品の氾濫する日本の食生活についてスピーチされました。さらに、インドネシアでは、生きたままの鶏を買い、家でさばき、すべて食用にするとの事。日本のスーパーでできれいにパック詰めされた肉類を目にする時の驚きは大きかったようです。お二人のスピーチから、あらためて日本人の食生活について考えさせられてしまいました。中国からの参加者が最も多かったのですが、ある留学生主婦の方は、「頑張って下さい」という言葉の持つ意味が、勉強に対してだけでなく、相手を励ます思いやりのこもった言葉である事を知り、声をかけられると嬉しくなると発表されました。他の留学生や主婦が「日本語と中国語の比較」、「引越しを通してわかった日本の風習」、「中国のなべ料理」等、興味深いテーマが展開されました。また、元気な男の子を出産して間もないメキシコの主婦が、胸にそっと手をのせ母乳による育児の話をされた時には、会場が柔らかい空気に包まれ大きな拍手が湧き起こった事も大変印象的でした。

今回のスピーチで、外国人の皆さんには、様々なテーマを、生き生きと、時にはユーモアを織り交ぜ会場を湧かせながら発表して下さいました。そこには、お国柄、国民性も感じられ興味深かったです。私たちボランティアにとっても大変良い刺激となりました。語学学習は、目的というよりは相手に伝える為の手段で、伝えたい事、気持ちが大切ではないでしょうか。私たちの語学に対する取り組みにも通じるものがあると思いました。今後も「スピーチ茶話会」が益々活気あるものとなり、外国人達との交流が更に広がっていけば素晴らしいなと思います。



発表前にリラックスゲーム

Report/N.I.A.活動報告Ⅲ

杵を休めて一服しよう

栗原 七郎（日本語ボランティア講師）

つきたての餅と賞味期限が有りポリ袋にパックされた餅と、どちらが美味かったでしょうか。

娯楽らしい娯楽がほとんど無かった私の幼年時代には、旧暦正月の一寸前に行われる餅つき行事は大変楽しいものでした。歌にある如く“もういくつねるとお正月”、と指折り数えたものです。母親が主役で、家族全員が参加し、時には近所の人も加わります。私が起きる頃にはもう母親がせっせと蒸籠でもち米を蒸かしているのです。楽しい想い出の一つです。

一月二十三日に行われたN.I.A.主催の餅つき大会に初めて参加致しました。参加された方々は多士済々。おじさん、おばさんの教えを素直に聞き、捏ね取りに挑戦するお嬢さん二人、日本文化を身に付けない内は絶対母国に帰らないと捏ね取りに励む姜さん、背後で心配顔で見守る山田先生。手付きは大変鮮やかなのですが、腰つきが不安定な佐野先生の捏ね取り。馬力満点、技術零点で餅つきに挑むマイク君。後ろ姿は自信満々、餅つきする為に生れて来たのだと言わんばかりの事務局長。



捏ね取り姜さんに心配顔

食べる時到来。餅を肴に四方山話、髭が大変良く似合いい、中年女性の注目を一身に受けそうなKさんのご主人。奥様を守るのは俺一人と奥様の側を離れ様としないHさんのご主人。事務室に居る時は貴婦人然りとしているが、割烹着姿が良くお似合いの事務局のおばさん。日本の大학で中国の歴史を教えていたと言う中国人のプロフェッサー二人。

一つの行事を大勢で協力しあう事の素晴らしい。参加者全員が家族のように思えた一日でした。日本の文化は急ぎ足で変化しています。この辺で一服して昔の思い出に浸つたら如何でしょうか。

来年も多数ご参加下さい。



美味しいお餅に大満足のマイク君

「あすなろ会」だより

西山 悅子（日本語ボランティア講師）

「私は谷津に住んでいます。引越して来たときは、どこへ行くのも道をたずねていましたが、今では『谷津バラ園はどこですか。』と日本人に聞かれて、教えてあげられるのがとてもうれしいです。」と中国人の王さん。

「船橋へ仕事に行くのも自転車、津田沼へ買い物に行くのも自転車。自転車は僕の一番の友達です。」とルーマニア人のヨルガさん。思い思いの日本での生活を語つて下さるのは「あすなろ会」の会員の方々。



あすなろ会新年のつどい

「あすなろ会」は習志野市国際交流協会の日本語ボランティア講師と、外国人生徒の有志の親睦会です。日本語ボランティア事業では、在住外国人に日常会話ができるよう、日本語の授業を続けていますが、対象者のレベルを初級としているため、中・上級の人達のサポートも必要となり、親睦会という形でレベルは問わず、自由参加で1999年9月より活動を始めました。

様々な事情で故国を離れ、日本で生活する人達が、積極的に祖国や日本に対する思いを熱く語り合い、時には活発な意見がかわされ、私たち日本人講師も思わず議論に引き込まれることもあります。毎週月曜日と水曜日、午前11時30分から12時30分まで国際交流協会事務局の部屋に集まり、日本語の授業だけでなく、会員どうし、また外国人生徒と日本人講師のふれ合いの場となっております。

N.I.A. Youth vol.32

このページは、青少年会員がつくるページです。

昨年12月19日（日）に、N.I.A.青少年事業部会主催によるクリスマスパーティーが開催されました。今回は、子供から大人まで幅広い年齢層の参加者となりました。



Merry Christmas
メリークリスマス
Mike Lega //
(カナダ)

MALIGAYANG PASKO
マリガヤン
パスコ
さとう れおにさ
(フィリピン)

**世界の国から
メリークリスマス！**
いろいろな国の「メリークリスマス」の言葉を集めてみました。
参加者の直筆です

クリスマス
メリークリスマス
KURATA NAREE
(タイ)

圣诞快乐
ショーン ダン フェル
王伟君
(中国)

**CRĀCIUN
FERICIT ?**
クラチュン
フェリチット
ヨルガ・ヴァシレ (ルーマニア)

**FELIZ NAVIDAD
HERY
KURISUMASU.**
フェリス
ナビダッド
ヘルイ
クリスマス
AKEMASHITE ONDETODO GORAIHASU.
feliz año nuevo.
アンジ・プラス・カランサ (ペルー)

会員紹介 / こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ／みなさん、どうぞよろしく！

頼もしい高校生トリオ

N.I.A.青少年事業部会の新しいメンバー・元気三人娘を紹介します。赤廣さんと鈴木さんは、昨夏の姉妹都市（タスカルーサ市）青少年派遣研修で一緒となり、鈴木さんと永坂さんは中学の同級生という間柄です。

三人娘の結成は、去年11月に開催されたN.I.A.バーベキューパーティーの時でした。「何かイベントをやりたいなあ!!」、「クリスマスパーティーなんてどう？」とすっかり意気投合し、他の仲間と協力し、クリスマスパーティーの企画、運営をやり遂げてしまったのです。

パーティーを運営しての感想を三人に聞いてみると、「様々な国の人々が参加したので、ゲーム等の進行方法が難しかったです」と反省しきりでしたが、「準備は大変だったけど、みんなと楽しくできました」と、最後は明るい笑顔を見せてくれました。

今後もたくさんのイベントを企画していくと思いますので、この三人娘を宜しくお願い致します。また、一緒に企画、運営を行っていただける青少年の皆さんを現在募集していますので、興味のある方は国際交流協会N.I.A.事務局までご一報下さい。(by N.I)

シニガンスープはいかが？

ミヨカワ ルビーさん（花咲在住）

みなさん、こんにちは！フィリピンから来たミヨカワ ルビーです。家族は、1996年に結婚した日本人の夫と、2人の男の子、アキラ（3才）とマコト（2才）と夫の母の5人です。花咲に住んで4年近くになります。

家では、このイタズラざかりの子供達と英語、日本語、タガログ語で話しています。私の夫は、朝早くから夜遅くまで、よく働いています。休みの日には、子供達と釣に行ったり、ドライブをしたり、とてもハッピーなファミリーです。長男のアキラは、この4月からヤヒロ モンテッソーリー保育園に通います。

私はもっともっと日本語を勉強したいと思い、1999年7月からN.I.A.の日本語レッスンを毎週水曜日に受けています。2人の子供達をつれての勉強は、なかなか進みませんが楽しい90分です。今年からは、内藤さんというベビーシッターが月2回きてくれることになり本当に助かっています。

「スクウェア」誌の48号で、私のホームタウンのフィリピンの特集をみました。フィリピン料理のポークバーベキュー、ココナッツ入りのライスケーキ、シニガンスープ（ポークかビーフと野菜-ガビ、大根、トマトなど-をボイルした少しショッパイスープ）やレチヨン（ローストポーク）は本当にオイシイですよ！

日本の料理では、スキヤキ、鍋物、焼肉などが好きです。サシミやスシが好きになるには、もう少し時間がかかりそうです。みなさん、よろしく。(by Y.T)



●左より赤廣直子さん、鈴木智花さん、永坂香奈さん



●ルビーさんとご主人、子供さん

印刷とデザイン

松樹印刷(有) 習志野市鷺沼1-15-16 電話 047-451-2222 FAX 047-451-2302

1クラス4人の個別指導
じっくりと楽しく学ぶ

ロシア語

[学習日] 1回90分授業週1回／月4回
火曜日PM14:30～ 授業料 月額 9000円
木曜日PM18:30～ 入会金 10000円

ソフィヤ学院 東西線葛西駅下車徒歩5分
Tel 03(3689)9984

Information／姉妹都市交流事業のお知らせ

習志野でアメリカの高校生と交流しよう！

★6月1日～12日、姉妹都市の米国アラバマ州・タスカルーサ市から派遣される青少年が習志野にやって来ます。N.I.A.では、市民同士のより親密な交流をめざして、次とおり募集を行います。

=家族全員で楽しむ国際交流=

□滞在中ホームステイ受入にご協力いただける家庭
登録ボランティア制となっています。詳細は、N.I.A.へお問合せください。

=ホームステイは無理という君も=

□英語交流キャンプ参加者
期日：6月10日(土)～11日(日)
習志野市立富士吉田青年の家に一泊するバス旅行です。
タスカルーサ市の若人と楽しく英語で話してみましょう。
対象：学生
定員：先着15名（N.I.A.会員優先）
申込：N.I.A.へ電話でご連絡ください。

アメリカで本格的に英語を学んでみよう！

=2000年姉妹都市青少年派遣事業=

★7月16日～8月1日まで高校生20名をタスカルーサ市へ派遣し、アラバマ大学で集中的に英語を学びます。また、ホームステイや姉妹都市の友好行事を通じて自己研鑽と友好関係を深めることを目的とします。

参加資格

1. 習志野市内に居住している高校生または市立習志野高校の在校生
2. 英語の学習意欲が十分にあること
3. 習志野市国際交流協会(N.I.A.)会員として活動に参加できること
4. その他：詳しくは、N.I.A.事務局で配布中の応募要項をご参照ください。

費用：自己負担約14万円見込(習志野市がアラバマ大学での研修費を助成予定)

申込：4月28日(金)までにN.I.A.事務局へ応募要項に添付の「申込書」を持参してください。追って、面接審査を行います。

●語学交流講座受講生募集●

習志野市国際交流協会N.I.A.では、外国語を学びながら講師と受講生、そして受講生同士が交流する身近な国際交流のきっかけづくりの場として、「語学交流講座」を開講します。

国際交流やボランティア活動に興味のある皆さん、ぜひご応募ください。

講座日程 2000年度春期（5月～7月）

講 座 名	クラス	曜日・時間	期 間	回数	受講料	レベル
英 語	A	火 13:30～15:00	5月9日～7月11日	10	8,000円	初級
	B	金 13:30～15:00	5月12日～7月14日	10	8,000	"
	C	土 10:30～12:00	5月13日～7月15日	10	8,000	"
スペイン語	A	木 13:00～14:30	5月11日～7月13日	10	8,000	"
中 国 語	A	水 13:30～15:00	5月10日～7月12日	10	8,000	"
イタリア語	A	木 10:30～12:00	5月11日～7月13日	10	8,000	"

◇各講座は、1年間3期にわたって継続します。年間を通して受講できる方が対象です。各期の日程はそれぞれ開講前にお知らせいたします。

(春期、5月～7月、秋期9月～11月、冬期1月～3月)

◇受講料は、各期ごとに徴収いたします。また、別途テキスト代がかかります。各期ごとの受講料は途中で退講されてもお返しいたしません。

◇定員は、各クラスとも15名です。定員を超えたクラスは抽選といたします。また、一定の人数に達しないクラスは開講しない場合があります。

◇講師は、外国人講師です。

◇受講場所は、当協会事務局・会議室です。

◇お申込み方法

希望講座・クラス・氏名(ふりがな)・住所・電話番号・FAX・生年月日を明記し郵便またはFAXでN.I.A.へお申込みください。

◇締切

4月20日(木)必着

[お問い合わせ先]

習志野市国際交流協会 (Narashino International Association)

〒275-0016 習志野市津田沼5-12-12 京成津田沼駅ビル サンロード4階 電話・FAX (047) 452-2650 月～土 10:00AM-6:00PM

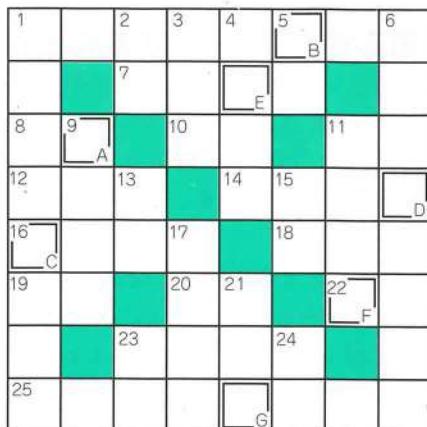
Let'sチャレンジ／ザ・英文クロスワードパズルNo.49／プレゼント付！

〈ACROSS〉

1. Unable to look after oneself.
2. There are nine players on each _____.
8. Prisoner of War
10. New Mexico
11. Chemical symbol for Thulium.
12. ___, ate, eaten,
14. Meat from an ox, cow, bull.
16. Pass the tongue over.
18. Parts of a machine used for changing rotary into reciprocal motion.
19. English Translation
20. Opposite of "Yes".
22. Royal Academy
23. "Is it yours?" "No, it's not ____."
25. Words, especially with subject and predicate, that from a statement, question, or request, making complete sense.

〈DOWN〉

1. Having no ___, giving or promising no _____.
2. Local Time
3. Instrument for writing in ink.
4. Young sheep
5. English man or men.
6. (esp. of persons) Having succeeded by their own efforts.
9. "Time and tide ___ for no man." (proverb)
11. ___, tore, torn,
13. Traveler's Check
15. East Central (postal area in London)
17. Make by looping wool, silk, etc, yarn on long needles.
21. ___ of them is mine, the other is yours.
23. Chemical symbol for Manganese.
24. Prefix meaning to make, cause to be.



〈出題者〉 御園生 馨 (編集部員)

〈応募要項〉

クロスを解いたあと、A～Gの文字をつなげてできたことばが正解です。

ハガキに解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。4月末日必着。

正解者の中から抽選で3名の方に、アラバマ大学オリジナル・Tシャツをプレゼントします。

宛先：〒275-0016 市内津田沼5-12-12 サンロード4F 習志野市国際交流協会「N.I.A.スクウェア」編集部まで。
たくさんのご応募お待ちしています。

会員募集

ー国際化は自分の力で

あなたもN.I.A.で活動してみませんかー

習志野市国際交流協会（N.I.A.）は、1987年7月設立し、習志野市の国際化を市民の立場で推進してきました。N.I.A.は、会員一人ひとりが主体の団体です。自らの手で世界の人々の人々と触れ合い、国際性豊かな人間になることを目的にしている人々の集まりです。

国際交流に関心のある方、国際化事業に積極的に参加する意欲のある方のご入会をお待ちしています。

会費（年額） 学生 1,000円 個人 2,000円 団体 10,000円

※事務局は下記にあります。一度お立ち寄りください。

習志野市津田沼5-12-12 サンロード4階

Tel&Fax 452-2650 月～土 AM10:00～PM 6:00

編集後記

- 今回、中国のほんの一部、ハルビン市を特集しました。象の耳に、チョット触れただけでも、市民の異文化の取り入れと同化の早さに驚かされますね。（Y・館川）
- 日本経済は、ここ10年程低迷の最中にありましたが、このような時こそ、草の根ベースでの国際交流を深める事が、国際社会での日本の将来を支える礎になると確信しています。（H・本田）
- 人間にとって、健全な競争は必要である。しかし、過度の競争社会が人間精神を歪める可能性も否定できない。フェアな競争の推進と差別のない社会の形成－21世紀の重い課題である。（T・木村）
- Y2K問題も大過無く、期待する昇り竜の年を迎える事が出来ました。ミレニアムのスタートに相応しい良い年になる事を願う。（k・御園生）
- 世界中の人々が2000年の訪れに花火を打ち上げたように、2000年からは世界中の人々が世界の平和をもっと深く考えるようになりたいですね。（H・山内）
- みなさんは、春の訪れを何で感じますか？私は、いつも通勤している電車に、ピカピカのスクールバッグを持っている学生を見かけた時、春だなあと感じます。（N・井吉）
- 先日、当協会のスピーチ茶話会に出席し、たとえ少しの語学力でも心を動かせることを実感した。かのジャンヌ・ダルクは無力であっても、言葉と心と勇気で大勢の人の心を動かした。言葉を人に伝えるには勇気が必要ではないかと思う。（K・沼澤）
- We should find ways as to how we could invite foreigners to join voluntarily and share their talents in any form. This may open the way for them to express themselves through correspondence. (J・西條)

前回の解答

〈解答〉 EARTHQUAKE

F	O	R	M	O	S	A	
O	H	O	N	E		Q	
R	C		R	E		O	U
T	A	K	E		C	P	A
U	S	M		B	E	E	R
N	E		T	E		N	T
E		N	O	T	E		E
	S	W	E	A	T	E	R

当選者＜アラバマ大学ポロシャツ＞

富田 亮子さん

栗原 ちえさん

正解者は21名でした。

N.I.A.スクウェア・第49号

発行2000年3月1日/発行責任者・林 安次

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・館川 裕

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード4F

TEL/FAX 047-452-2650

<http://www.city.narashino.chiba.jp/nia/>

<メール> nia@city.narashino.chiba.jp